

時系列データによる

デモ付き

将来予測、異常検知への応用

～モデル化、集団学習による予測精度の向上など～

●日 時：2020年1月15日(水) 10:00～17:00

●聴講料：1名につき 50,000円（消費税抜、昼食・資料付）

●会 場：[東京・五反田] 日幸五反田ビル8F

[1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき45,000円（税抜）]

技術情報協会セミナールーム

[大学、公的機関、医療機関の方には割引制度（アカデミック価格）があります。]

※定員になり次第、申込みは締切となります。

詳しくはお問い合わせください。

講師：茨城大学大学院 理工学研究科 機械システム工学領域 教授 鈴木 智也 氏

【講演のポイント】

時系列データは様々な実務に用いるにも関わらず、なぜか大学では主に経済学部でしか学ぶ機会がなく、理系出身のエンジニアの方々はお困りだろうと察します。また、限られた勤務時間の中で独学を試みても、数式ばかりの教科書に難儀されているのではないのでしょうか。そこで本セミナーでは、図解による分かり易さを重視し、フリーソフトPythonによる実践方法を多数紹介します。特に、データの個性を定量化する統計分析や、数式化する時系列モデルを紹介した後、人工知能技術として「将来予測」や「異常検知」に応用します。これらのプログラムは全て配布しますので、復習やご自身の業務にご活用いただけます。

【講演項目】

- 時系列データの分析手法
- 相関分析の注意点
- 時系列データのモデル化
- 様々な時系列モデルの使い分け
- 時系列データの予測と異常検知
- 機械学習による学習力の強化
- 様々な機械学習の使い分け
- 過学習と次元の呪い
- 交差検証法
- モデルパラメータとハイパーパラメータの違い
- ニューラルネットワークから深層学習へ
- 決定木による学習結果の可視化
- 集団学習による学習力の強化
- 予測精度が向上する理由（多様性予測定理）
- 様々な集団学習の活用事例
- バイアス・バリエンス分解
- PythonとRを連携して使うテクニック
- Pythonによるデモンストレーション

【質疑応答】

「時系列データ」セミナー申込書 No.001506 1/15

【講師紹介割引 聴講料2割引き】

会社名	〒	事業所・事業部	
住所			
TEL		FAX	
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			

講師からの紹介として、1名につき定価の2割引きでご受講できます。2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込みください。お申し込み後はキャンセルできませんのでご注意ください。申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りします。

個人情報の利用目的
 ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため
 ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため
 ・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします

技術情報協会
 TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.
 申込専用FAX 03-5436-5080

今後、定期的な案内を希望されない場合、案内方法に×印をお願いいたします。
 (現在案内が届いている方も再度ご指示ください)

[郵送(宅配便)・FAX・e-mail]